

平成26年度 第2回食の循環によるまちづくり推進委員会 議事録

日 時：平成26年7月24日(木) 午前10時00分～正午

会 場：市役所別館2階 会議室

出席者：11名

出席委員	佐藤ミネ副委員長、高山廣伸委員、中村明委員、藤田健委員、小野洋平委員、佐藤恭子委員、中野浩一委員、高橋賢司委員、津村賢委員、下條莊市委員長、関根暁子委員
事務局	宮崎企画政策課長 寺尾課長補佐 企画政策係(高山係長、吉田主任、大淵主事)

(欠席委員)

三田村秀之委員、中村和浩委員、阿部慎委員、宮尾俊輔委員、渋谷知明委員、佐藤涉委員

1 開会

2 あいさつ

【下條委員長】

本日は、第1回会議での意見をまとめたい。

有意義な話し合いをしたいので、よろしくお願いします。

3 議事

(1) 食の循環しばたリレートークの講師について

【下條委員長】

このことについて、事務局より説明願う。

【事務局】

(資料1に基づき説明)

委員の皆様には、講師候補者を数名挙げた上で、優先順位をつけていただきたい。

【下條委員長】

講師には、講演で「食の循環」に言及していただきたい。

資料1の講師候補者一覧に掲載していない方でも結構なので、講師に推薦したい方がいれば、発言していただきたい。

【A 委員】

私は畜産業に携わる立場から、食肉など動物の生命をいただくことについて、子ども達にもっと知って欲しい。

【B 委員】

A 委員の意見と同様、育てたものや生命が「食」につながっているという話ができる方を講師にしたい。

【下條委員長】

資料 1 の 2 番の吉田俊道氏、8 番の木村秋則氏、1 2 番の川島隆太氏などは、講演で「食の循環」に言及してくれると思う。

【C 委員】

私は、小泉武夫氏を講師に推薦する。小泉氏は平成 1 4 年度に新発田市で講演をしており、活動内容も「食の循環」に関連している。

【D 委員】

講師を決定する前に、講演のターゲットを明確にしなければならない。

【E 委員】

D 委員の意見と同様、ターゲットを明確にしなければ講師を決めようがない。

また、講演で「食の循環」に言及していただくことが必要との意見もあるが、講師はあくまで集客のための手段であり、「食の循環」をいかに来場者に伝えるかは、講師でなく私たちからどうアプローチをするかという問題だ。

【F 委員】

これまでのリレートークのテーマは「食の循環」における「調理」が中心だったが、今回は「肥料づくり・土づくり」に焦点を当てたい。実生活でコンポスト作りをしているベニシア氏を講師に推薦する。

また、新発田市の堆肥をリレートークで紹介し、販売することで、大いに PR したい。

【G 委員】

木村秋則氏の講演には個人的に興味はあるが、子育て世代の集客には向いていない。資料 1 の 1 1 番の森野熊八氏や、7 番の杉浦太陽氏は集客力があると思う。

【B 委員】

杉浦太陽氏は、子育て世代には人気があると思う。

【H 委員】

子育て世代がターゲットであれば、「子育て」と「食」の密接な関係について話ができる方を講師にしたい。

【I 委員】

吉田俊道氏の講演には大変興味があるが、子育て世代の集客を考慮すると、知名度のある杉浦太陽氏がよい。

【下條委員長】

先日、市内で収録された NHK の「キッチンが走る！」を観たが、杉浦太陽氏は「食」に大変興味があるようだった。

【E 委員】

同放送を観た市民は多いだろうと思う。杉浦太陽氏は、新発田市では今が旬のタレントだ。最近、収録で新発田市を訪れていることから、講演では新発田市の「食」に言及していただけたと思う。

【佐藤（ミ）副委員長】

昨年度、新発田ブランド認証商品の審査員として新発田市にお越しになった片岡鶴太郎氏を推薦したい。新発田ブランドとの関わりもあり、片岡氏であれば様々な角度から新発田市の「食」に言及していただけたと思う。

【下條委員長】

講師候補者を数名挙げた上で優先順位をつける必要があることから、この他に講師に推薦したい方がいれば発言していただきたい。

【A 委員】

家庭で手料理を食べることの大切さを伝えたいので、内田美智子氏を講師に推薦する。

【下條委員長】

資料 1 の 9 番の笠原将弘氏はテレビ番組にもよく出演している。

【D 委員】

生涯学習センターを会場とした場合に、料理人を講師としてお招きし、ステージ上で調理実演をしていただくことは可能か。

【事務局】

会場内での火気の使用はできないが、食材を切ったり盛りつけをしたりする程度の実演であれば可能である。

【B 委員】

自分の子どもの学力が上がると知れば、子育て世代の方々の関心を集めることができると思うことから、川島隆太氏を講師に推薦したい。

【下條委員長】

第1候補を杉浦太陽氏、第2候補を片岡鶴太郎氏、第3候補を吉田俊道氏、第4候補を川島隆太氏とすることとしてよろしいか。

【一同】

承認

(2) 食の循環によるまちづくりの啓発活動について

【下條委員長】

このことについて、事務局より説明願う。

【事務局】

(資料2に基づき説明)

【D 委員】

このような取り組みは非常に有意義だが、参加への動機付けの方法を検討する必要がある。例えば、優勝者を表彰するというだけでは、多くの高校生は参加しない。賞金や、自分の作品が実際に発売される等、高校生の参加を促す仕掛けが必要。

【佐藤(三)副委員長】

毎年、高校生を対象に料理教室を開催している。以前は参加者を集めるのに苦労したが、最近では料理に熱心な高校生が増えてきたと感じる。

【H 委員】

対象を高校生に限定せずに、主婦の上手な弁当を PR する等の場としても活用できる。参加者が多ければ多いほど盛り上がると思うので、対象を拡大したほうがよい。

【佐藤（ミ）副委員長】

主婦や高校生など、それぞれの部門を設けてはどうか。

【下條委員長】

対象を拡大することは可能か。

【事務局】

可能である。また、市民の「食の循環によるまちづくり」への理解を深めるのがねらいであることから、それぞれの部門を設けて対象を拡大することは非常に意味のあることだ。

【下條委員長】

事業内容等の詳細を再度検討した上で、第 1 回「お弁当選手権！」を開催することとしてよろしいか。

【一同】

承認

(3) しばた食の循環応援団の活用について

【下條委員長】

このことについて、事務局より説明願う。

【事務局】

(資料 3 に基づき説明)

【下條委員長】

新発田ならではの農産物で、まだ応援団の皆様にお送りしていないものがよい。

【事務局】

「蓬莱柿 (ほうらいし) 」や、「久保なす」が挙げられる。

【下條委員長】

「蓬莱柿（ほうらいし）であれば調理せずに食べられることから、今年度は「蓬莱柿（ほうらいし）」を応援団の皆様にお送りすることとしてよろしいか。

【一同】

承認

（４）その他

【事務局】

本日の話し合いの結果を確認させていただく。

食の循環しばたりレートークの講師については、優先順位に従って講師候補者に出演交渉する。

食の循環によるまちづくりの啓発活動については、「お弁当選手権！」の事業内容等の詳細を再度検討する。

しばた食の循環応援団の皆様には、「蓬莱柿（ほうらいし）」をお送りする。

「お弁当選手権！」の開催は１１月頃、「食の循環しばたりレートーク」の開催は２月頃を予定している。

なお、交渉や検討の結果については、９月上旬に予定している第３回会議で報告させていただく。

４ その他

【一同】

なし

５ 閉会

【下條委員長】

本日は有意義な話し合いができた。

第１回新発田市食の循環によるまちづくり推進委員会を閉会する。